

# その下地、安全ですか？

汚れの付着



部分補修強度不足



伸縮目地不適切な設置



つるつるした下地



施工前に下地を確認してますか？

# タイル施工に適し 最重要チェック

1

## 汚れのチェック



●下地を手のひらで、なでると汚れが付いてきませんか？

●その汚れは、モルタルの接着を阻害します。

対応・対策

汚れを除去して、水洗いを行ってください。

2

## 伸縮目地と割付チェック



●コンクリート躯体のひび割れ誘発目地とタイル面の伸縮目地が、一致していますか？

●伸縮目地が適正に設置されていないとタイルの剥離の原因になってしまいます。

対応・対策

ひび割れ誘発目地と伸縮目地を一致させる。  
ひび割れ誘発目地周辺はこて圧に、特に注意する。

チェック  
項目

チェック表  
(1～4以外も含む)

チェック項目	確認
1. 汚れの付着	
2. 伸縮目地と割付	
3. 下地モルタル・補修材の強度(ドライアウト)	
4. 表面粗さ	
5. 下地モルタルの浮き	

# 下地の判別する ポイント①～④

## 補修材の強度チェック

3



●部分補修材がドライバーや釘等でこすって簡単に取れてきませんか？

●硬化不良で強度不足をおこした部分補修材は、タイル剥離の原因になります。

強度が出ていない部分は削り取ってください。  
補修材に散水して、養生してください。

対応・対策

## 表面粗さのチェック

4



●下地がつるつるではありませんか？（パネコート型枠使用の場合、高強度コンクリート下地の場合等）

●つるつるした表面は、接着不良やタイル剥離の原因になってしまいます。

超高圧洗浄やサンダー掛け等、下地表面の目荒しまたは、ポリマーセメントモルタルを加工（ノロ工法）して、下地を粗面にしてください。

対応・対策

チェック項目	確認
6. 下地モルタルの亀裂	
7. 下地の面精度・寸法精度	
8. 下地の材齢（夏季7日・冬季14日以上が理想）	
9. 下地の水引き具合	
10. 白華の有無	

## JASS19が改定されました! (2005.3)

日本建築学会発行「建築工事標準仕様書・同解説 JASS19 陶磁器質タイル張り工事」が現状の施工方法に対応できる形に改定されました。その改定のポイントを下記にまとめます。

### 工法に関する追加・変更

#### ●コンクリート下地の直張り工法を新たに明記。

条件1) 密着張り工法とモザイクタイル張り工法に限定。

条件2) 下地の面積度は2mにつき6mm以下を限定(不具合時はこの基準に修正の事)。

#### ●モザイクタイル張り工法を明記。

条件1) 下地表面処理及び吸水調整材併用。(下地の吸水性が大きい場合や下地の吸水性にムラがある場合に吸水調整材を用いる) 張付け用モルタルの塗付けは二度塗りとし、その合計の塗厚は3~5mmを標準とする。  
張付けモルタルの1回の塗付け面積は3m<sup>2</sup>以内又は30分以内に張付けられる面積とする。  
叩き込みを十分に行う(目地部からのモルタルがはみ出すようにする)。

条件2) 施工管理を確実にを行う事で認知。

#### ●施工時の環境条件を訂正

条件1) JASS15(左官工事)と整合させ2℃から3℃に変更。

#### ●密着張り工法は後目地施工を原則とする(一発目地施工の禁止)。

#### ●外壁のタイル接着強度検査の試験体の数について

条件1) 100m<sup>2</sup>以下毎につき1個以上かつ全面積で3個以上とする。

#### ●適用下地として押出し成形板・ALCパネル・ボード類(けい酸カルシウム板 JIS A 5430による、せっこうボード JIS A 6901による、合板 日本農林規格JASによる)を明記。

#### ●下地の検査及びタイル剥離防止について

条件1) コンクリート表面に対するレイトンス・汚れ及び剥離剤等は十分な洗浄をする。

条件2) タイル剥離防止として、目荒し処理、MCR工法。

#### ●床タイル張り工法の明確化

条件1) セメントペースト張りを統一、敷きモルタルの硬化前にセメントペーストを敷きモルタルの上に流し、直ちに施工。

条件2) 床タイル張り工法に、新たに改良圧着張り、圧着張り、モザイクタイル張り、接着剤張りが採用。

### 材料に関する追加・変更

#### ●モルタルに関して

- 下地不陸調整モルタル
- 1) コンクリート下地の不陸調整で、既製調合モルタルを使用する場合。  
※JIS A 6916 CM-2に適合した製品を使用する。  
左官用軽量骨材(サンド)を使用した現場調合モルタルは、タイル下地としての使用を禁止する。
- 張付けモルタル
- 1) 直張りは、既調合モルタル(ポリマー入り)またはポリマーを混入した現場調合モルタルに限定(P/C=5%程度混入)※JIS A 6916「建築用下地調整塗材」「試験用タイル張付け用モルタルの品質」に適合すること。
  - 2) 現場調合モルタルのモザイクタイル張りの調合は、細骨材量をセメント1に対して0.5~1.0に変更(旧版は、0.2~1.0)。

### 関東NSタイル工法研究会設立経緯

関東NSタイル工法研究会は、建材メーカーでありタイル業界にも古くから関わりのある日本化成(株)と関東地区で実績のあるタイル工事専門業者が、タイル工事の品質向上・能率向上を目的に平成13年度12月に発足しました。製・工が手を取り合い意思統一を図りながら更なるレベルアップを目指し、建築業界に貢献できる組織となるべく活動を展開しております。

連絡先

**関東NSタイル工法研究会事務局**

**日本化成株式会社 関東支社**

TEL.03-3207-8166 FAX.03-3207-8175